



■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	今宿小学校建替工事	階数	地上3階
建設地	横浜市旭区今宿東町829番3外	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域、防火指定なし	平均居住人員	760 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,200 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年6月 予定	評価の実施日	2023年8月28日
敷地面積	11,342 m ²	作成者	金子設計
建築面積	2,371 m ²	確認日	2023年8月29日
延床面積	6,579 m ²	確認者	金子設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
明快な動線計画、コンパクトな配置計画 建物を低層に抑え、周辺環境へ配慮 中庭面からの通風、採光を確保 前面道路に歩道状空気を整備し、児童の安全を重視するとともに周辺交通に配慮	残土搬出を抑えたピット形状 周辺への騒音振動に配慮した杭工法の選定 仮設校舎が不要な建て替え計画とし、工期の短縮を行い周辺環境へ配慮を行うとともに、引っ越しなどの負担軽減
Q1 室内環境 非空調エリアも断熱し、複層ガラスを採用。 全熱交換器を導入して空調負荷を低減し、室内の温熱環境の向上を図る。 主な教室は南西面、南東面に配置。また中庭から廊下へ	Q2 サービス性能 移動等円滑化基準を満たした設計。 構造は用途係数を1.25とし、25%増の耐震設計。 内装材は県産材を採用 トップランナー方式適合機器、グリーン購入法適合品採
LR1 エネルギー 高効率設備機器(空調)や人感センサー付き照明及びセンサー付き換気扇の採用 採光、通風などの自然エネルギーを活用	LR2 資源・マテリアル 節水型便器や自動水栓を採用し、水資源の保護を図る リサイクル資材の採用や、資源の再利用がしやすい建材を採用。 内装材・設備は容易に交換が可能 解体時に容易に分別が可能
	Q3 室外環境(敷地内) バルコニー、庇を設け、日陰を形成 緑地による暑熱環境を緩和 既存緑地をできるだけ残し、景観を保持し周辺環境へ配慮。
	LR3 敷地外環境 周辺との距離を十分に確保した建物は位置 歩車分離を図り、舗装には透水性のある材料を採用 校舎を低層化し、周辺住宅へのグレアを抑制

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



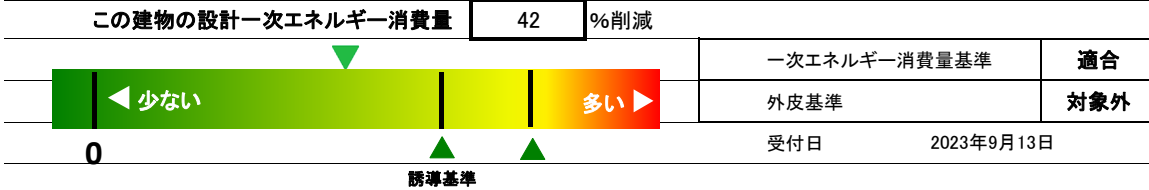
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **今宿小学校建替工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

BPI_m=0.65

BPI_m=0.65

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **4**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

昼光率2.7%

敷地内禁煙

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

清掃がしやすく汚れがつきにくい仕上げとしている。清掃用具庫や清掃員控え室が十分な広さを確保している

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

重要度係数1.25としている

床、壁、天井のほとんどの仕上げを耐用年数20年以上としている

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **4**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

既存録地を保存している

建物の階数を抑え周辺の景観に調和させている

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1
今宿小学校建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.5
Q1 室内環境									3.3
1 音環境					3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 騒音					3.0	0.40	3.0	-	-
1.2 遮音					3.6	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能					5.0	0.30	3.0	-	-
2 界壁遮音性能					3.0	0.30	3.0	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	0.20	3.0	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	0.20	3.0	-	-
1.3 吸音					3.0	0.20	3.0	-	-
2 温熱環境					3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御					3.0	0.50	-	-	-
1 室温					快適・働きやすさ	3.0	0.60	3.0	-
2 外皮性能					快適・働きやすさ 健康・安心	3.0	0.40	3.0	-
3 ソーン別制御性					快適・働きやすさ	3.0	-	-	-
2.2 湿度制御					快適・働きやすさ	3.0	0.20	3.0	-
2.3 空調方式					快適・働きやすさ	3.0	0.30	3.0	-
3 光・視環境					3.6	0.25	-	-	3.6
3.1 昼光利用					4.2	0.30	-	-	-
1 昼光率					快適・働きやすさ	5.0	0.60	3.0	-
2 方位別開口					快適・働きやすさ	-	-	3.0	-
3 昼光利用設備					快適・働きやすさ	3.0	0.40	3.0	-
3.2 グレア対策					4.0	0.30	-	-	-
1 昼光制御					快適・働きやすさ	4.0	1.00	3.0	-
3.3 照度					快適・働きやすさ	3.0	0.15	3.0	-
3.4 照明制御					快適・働きやすさ	3.0	0.25	3.0	-
4 空気環境					3.6	0.25	-	-	3.6
4.1 発生源対策					-	-	-	-	-
1 化学汚染物質					快適・働きやすさ	-	-	3.0	-
4.2 換気					3.3	0.60	-	-	-
1 換気量					快適・働きやすさ	3.0	0.33	3.0	-
2 自然換気性能					快適・働きやすさ	4.0	0.33	3.0	-
3 取り入れ外気への配慮					快適・働きやすさ	3.0	0.33	3.0	-
4.3 運用管理					4.0	0.40	-	-	-
1 CO ₂ の監視					快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-
2 喫煙の制御					快適・働きやすさ	5.0	0.50	-	-
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.7
1 機能性					4.3	0.40	-	-	4.3
1.1 機能性・使いやすさ					4.0	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性					快適・働きやすさ	3.0	-	3.0	-
2 高度情報通信設備対応					快適・働きやすさ	3.0	-	3.0	-
3 バリアフリー計画					快適・働きやすさ	4.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観					快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	-
2 リフレッシュスペース					快適・働きやすさ	3.0	-	-	-
3 内装計画					快適・働きやすさ	5.0	0.50	3.0	-
1.3 維持管理					5.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計					快適・働きやすさ	5.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保					快適・働きやすさ	5.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性					3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性					防災	3.0	0.80	-	-
2 免震・制振性能					防災	3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.7	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数					防災	3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					防災	3.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					防災	5.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					防災	4.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					防災	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					防災	3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性					2.6	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備					防災	3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備					防災	3.0	0.20	-	-
3 電気設備					防災	3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法					防災	1.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備					防災	3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性					3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり					3.4	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり					3.0	0.60	3.0	-	-
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり					4.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性					3.4	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性					5.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.1
 今宿小学校建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			3.5	
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-			3.0
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-			4.0
3	地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	-			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑳地域性への配慮	4.0	0.50	-	-			-
3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.7	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.1	
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-			5.0
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	2.0	0.10	-	-			2.0
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-			5.0
4	効率的運用				2.0	0.20	-	-			2.0
	集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	1.0	0.50	-	-			-
	集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.5	
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1	節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2	非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-			3.4
2.1	材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.20	-	-			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			-
3	汚染物質含有材料の使用回避				4.3	0.20	-	-			4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-			-
3.2	フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-			-
1	消火剤				-	-	-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-			-
3	冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.2	
1	地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	-			3.6
2	地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-			3.0
2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2	温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2	污水处理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3	交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
4	廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3	周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1	騒音				3.0	1.00	-	-			-
2	振動				-	-	-	-			-
3	悪臭				-	-	-	-			-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1	風害の抑制				3.0	0.60	-	-			-
2	砂塵の抑制				3.0	0.20	-	-			-
3	日照障害の抑制				3.0	0.20	-	-			-
3.3	光害の抑制				4.4	0.20	-	-			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目											
<事務用途>											
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-			-	
<住宅用途>											
健康と安心											
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-	
2	適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-	
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-			-	
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-			-	